

緑化に係る雑感：鳥取県農林水産部長

上 海 雑 感



鳥取県農林水産部長 坂 出 徹

9月のはじめに上海に行ってきました。

13年ぶりの上海は、驚くほど姿を変えていました。前回はたった1日だけの滞在だったので記憶もあやふやなのですが、それにしても見覚えのある風景はほとんどありませんでした。懐かしい租界時

代のバンドの建築がそのまま残ってはいても、後ろを振り返ると、黄浦江の対岸にはテレビ塔をはじめ未来予想図に出てきそうな奇抜なデザインの高層ビルが並んでいます。

以前は店も住まいも2階建て、あるいは4階建てといった建物だったように思います。

ガイドさんによると、風呂は4・5軒の共同、トイレは木の桶で毎日決められた場所に出すといった生活だったそうです。

それらは次々と取り壊されて、20階建て、30階建てのマンションに変わっています。2008年の北京オリンピック、2010年の上海万博を前に、まさに建築ラッシュの真最中です。完成したばかりでまだ入居者のいないマンションと建築中のものを合わせて、いったい何万戸あるのか見当もつきません。

J E T R Oの調査報告によると、中国では、木材が壁材として使われることは少ないものの、床や天井の下地、床、幅木、ドア、ドア枠などに使われるとのこと。ものすごい数の新築マンションを見ていると、木材需要が急激に増えていることが、実感として分かります。

一方で、中国は水害防止のために森林の伐採制限をし、木材を輸入しています。この勢いで経済発展が進んだら、どうなるのか。世界の森林を荒廃させたと批判を浴びた日本と同じ道をたどりはしないか。そうなる前に、中国自身の植林活動を急がなければ そんなことを感じた上海訪問でした。

平成16年度春期「緑の募金」実績

平成16年度緑の募金計画

募金運動期間 春期 3月25日(木)～5月31日(月)
秋期 9月1日(水)～10月31日(日)

募金目標額 2,800万円

平成16年度春期の「緑の募金」は、県民の皆様の御理解や関係者の御尽力により、ほぼ前年並みの2,500万円余の浄財が寄せられました。ありがとうございました。

この浄財の内、街頭募金、学校募金、家庭募金は、募金額の70%の範囲内で各市町村支部ごとに交付し、学校や地域の緑化に役立てられます。その他の募金は、本部で取りまとめて、団体等が行う森林づくりやボランティア活動などの助成金として交付することになっています。

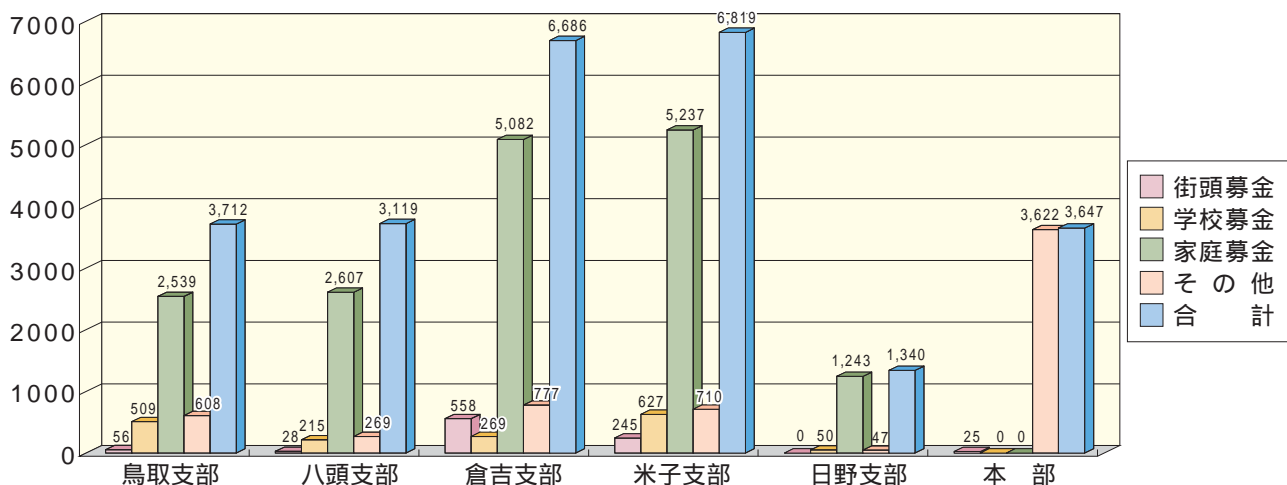
「緑の募金」は、身近な緑化の推進や地球環境を守るための貴重な浄財として有効に活用してまいりますので、募金目標達成のため今後とも一層の御理解と御協力をお願いいたします。

春期緑の募金実績

単位：千円

区 分		平 成 16 年 度						平成15年度
		街頭募金	学校募金	家庭募金	その他	合 計	割 合	
平成 16 年 度	鳥取支部	56	509	2,539	608	3,712	14.7	3,996
	八頭支部	28	215	2,607	269	3,119	12.3	3,238
	倉吉支部	558	269	5,082	777	6,686	26.4	6,296
	米子支部	245	627	5,237	710	6,819	26.9	7,083
	日野支部	0	50	1,243	47	1,340	5.3	1,386
	本 部	25	0	0	3,622	3,647	14.4	3,431
	計	912	1,670	16,708	6,033	25,323	100.0	25,430
	割 合	3.6	6.6	66.0	24.0	100.0		
平成15年度		674	1,818	16,905	6,033	25,430		

平成16年度春期募金の種類別・地区別実績



高額募金者のお名前（敬称略）

20万円以上 (株)新日本海新聞社

10万円以上 井関 顕人、西村 徳義、安田 仸、安田 信二（あいうえお順）

第50回鳥取県植樹祭の開催

第50回の節目となる鳥取県植樹祭が、鳥取県、福部村及び本委員会の主催により、4月18日（日）に福部村湯山「オアシス広場」で開催されました。

当日は、暑すぎるほどの好天に恵まれ、県下各地から約1,200名の方に参加を頂き、盛会のうちに終了することができました。

式典では、主催者として前田理事長からは、過去の緑化運動や植樹祭を振り返りながら緑化の大切さを訴え、「これを契機に、本県の緑化運動が緑豊かな住みよい郷土を次代に引き継ぐ県民運動へと繋がることを願います。」との挨拶がありました。

式典に続いて、片山鳥取県知事や前田理事長等の代表植樹のあと、参加者が隣接のマツクイムシ被害跡地にマツクイムシに強いクロマツやトベラ、アキグミなど1,600本を植栽しました。今回植栽された苗木が立派に育って、鳥取砂丘の景観保全や飛砂防止に役立ってくれることを願いたいと思います。

事務局



福部小学校みどりの少年団の緑の募金



代表植樹を終わった理事長



一般参加者の植樹

みどりの少年団交流集会

平成16年度みどりの少年団交流集会を、8月4日から2泊3日の日程で船上山少年自然の家において開催しました。

今年は、県下各地から8団が参加し、鳥取県中部・西部農林局、八頭地方農林振興局の応援を含めて総勢62名の参加となりました。



クラフト（写真立て）



船上山登山（植物観察）

初日に予定していたキャンプファイヤーが雨のためキャンドルサービスに変更になった以外は、予定どおりの日程で交流を深めました。

2日目の船上山登山の最後に5名がスズメバチに刺されるハプニングもありましたが、幸い大事に至らず胸をなで下ろした次第です。

また、米子市の日新小学校みどりの少年団は、来年4月に統合が予定されており、今年が最後の参加となりました。

【参加みどりの少年団】

八東町立八東小学校、智頭町立山郷小学校、倉吉市立北谷小学校、三朝町立東小学校、米子市立成実小学校、米子市立車尾小学校、米子市立日新小学校、米子市立箕蚊屋小学校

【内 容】

- 4日 クラフト（写真立て）、野外炊飯、キャンドルサービス
- 5日 船上山登山、クラフト（森のネックレス）、交流会
- 6日 ネイチャーゲーム

事務局

五千石小学校みどりの少年団育成会結成



米子市立五千石小学校みどりの少年団育成会会長 長谷川 武司

五千石小学校みどりの少年団は、昭和56年に設立され、学校内を中心とした緑の募金活動や緑化活動を行ってききましたが、この度、少年団を指導・育成するための「五千石小学校みどりの少年団育成会」を設立しました。

育成会は、五千石小学校区20地区の自治会長に呼びかけて設立されました。私たちの目的は、次代を担う子ども達に、森や緑・水に関する学習活動、地域社会での奉仕活動を通じて、自然を愛し、人を愛し、社会を愛せる心豊かな人間に育ててもらうことであり、そのために地域ぐるみで少年団活動を支援していきます。

今後の少年団活動としては、学習活動から体験活動まで様々な形態で行われるよう次のように体系分けして実施していきます。

「学習活動」森林・緑について観察をしてその役割・機能について学び理解を深める。

「奉仕活動」地域内で清掃作業、公園での植樹・樹木の手入れ・清掃作業を行う。

「レクリエーション活動」キャンプ・ハイキング・緑化イベントへの参加、地域外交流を通じて自然とのふれあいを楽しみ関心を深める。

「体験学習」動植物・水生生物観察・森林作業・木工教室などの体験をして関心を深める。

これらの活動は、地域ぐるみの支援・指導を行うことでより効果的に子供たちの関心を高めることができると考えています。

鳥取県内には、現在、60団のみどりの少年団があり、3317名の団員が在籍しています。しかし、少年団は全て学校単位であり、地域ぐるみの活動は行われていないとのことです。私たち五千石小学校みどりの少年団は、五千石小学校を中心とした活動から始まり、今後は地域ぐるみの活動へと発展していけるよう頑張ってもらいますので、今後ともよろしくお願いします。

最後に、社団法人鳥取県緑化推進委員会より助成金を受けて教材と備品をそろえる事ができましたことに対し感謝申し上げます。

第14回森林のめぐみ感謝祭の開催

本委員会も参加している森林のめぐみ感謝祭実行委員会主催により次のとおり開催されますので、多数の皆様のご来場をお願いします。

日時 平成16年10月31日（日） 午前10時から

場所 東伯郡三朝町横手「ふるさと健康むら」

- 内容
- 木材や森の手仕事体験（木工教室、木造住宅組立て、草木染め等）
 - 地域の産物交流（マイタケ・山菜ご飯、椎茸、木工芸品、苗木等）
 - 無料配布等おもてなし（きのこ汁、苗木、トロッコ列車、足湯等）
 - 併催行事（森林ボランティア、住宅相談、包丁研ぎ等）

漁師による魚つき保安林の再生に向けて

緑の募金事業（森林づくり）

鳥取県漁業士会



6月に下刈りを行いました

鳥取県漁業士会は、平成9年ごろから海を育む森林の役割に感心を持ち始め、有志が県内のボランティア活動に参加してきました。この活動を通し、徐々に自分たちに関わりのある魚つき保安林の重要性について考えるようになり、平成12年10月に青谷町夏泊地区に常緑樹のトベラ、シラカシ、スダジイの苗木1,400本を植樹し、魚つき保安林約1.4haを造成しました。

その後、毎年下草刈りを行い維持管理をしてきましたが、潮風を直に受ける場所であったことから、苗木の生育が悪く、枯死するものもかなり見受けられるようになりました。

ある漁業士から、「これまで一生懸命管理してきたのに残念だ」との声があり、もう一度何とかして再生しようという動きが漁業士会に芽生えました。

そこで、3月23日(火)に鳥取県漁業協などの漁業関係者やその他のボランティアの方々の協力を得て総勢約80名が参加して、補植作業を行いました。急斜面で作業が難しい中、手分けして防風柵や防砂ネットの設置やトベラを主体にマツクイムシに強いクロマツやエノキの苗木200本を植樹しました。

今後も、「森が海を育む」を合い言葉にこの保安林の維持管理をしていきたいと思いをします。



「由良宿」の活性化をめざして

緑の募金事業（地区緑化イベント）

由良宿まちづくりの会会長 神宮 春美



雪の中での植樹

35本の桜を植える計画を立て、鳥取県緑化推進委員会の助成金と会員の寄付金を財源にして子ども達も参加して会員全員で植樹活動を行いました。

3月6日に植樹を行い、その後は、周辺の草取り等も随時行いながら、今後、「石のベンチ」の設置も計画中です。

最近、コナンも人気を呼んでいますので、コナン道路沿いの桜並木は、大勢の人の憩いの場となることを楽しみにしているところです。

今後も、行政、商工会の指導を仰ぎながら各種イベントに参加し、昔の「宿場まち」の活気を取り戻すため取組んでいきたいと考えているところです。

「由良宿まちづくりの会」は、わたしたちのまち「由良宿」をもっと魅力ある活気あふれるまちにしたいとの思いから、賛同者70名で発足して2年目の会です。

整備された由良川にかかるコナン大橋から右岸の道路沿いに



早速花が咲きました

校舎新築を記念して地域ぐるみの記念植樹

緑の募金事業（地区緑化イベント）

日南町立多里小学校 古都 好治



平成16年3月25日に日南町の木材をふんだん使った木のにおいがする明るくすばらしい新校舎が完成しました。

そこで、新校舎の完成を記念して、児童、教員、PTA、地域住民による記念植樹を計画しました。ちょうど鳥取県緑化推進委員会が計画されていました「地区緑化イベント」事業を活用し、4月17日（土）と6月23日（水）の参観日に児童、教員、PTA、地域住民の協力を得て記念植樹を実施しました。

地域ボランティアの協力を得て実施した緑化事業により、本当に落ち着いた学校になりました。子ども達も緑豊かな環境の中で、毎日を楽しんでいます。これからみどりの少年団活動の中で管理していきたいと思っています。



若桜町と鳥取市賀露町との交流

緑と水の森林基金事業（農山村・都市交流活動）

若桜町支部

千代川の源流域である若桜町と、河口域にある鳥取市賀露町の交流会を、7月4日（日）にわかさ氷ノ山ふれあいの里で開催しました。

平成12年にブナやミズナラを植樹した「賀露みなと21世紀の森」において、両地域の親子など約110人が、豊かな水源と綺麗な海を願いながら力を合わせて下刈り作業に汗を流しました。

また、氷ノ山の豊かな森林から流れ出る冷たく綺麗な水の中で、自然の恵みであるヤマメなど川魚のつかみ取りを行い、賀露では体験できないイベントを通して豊かな森林の大切さをあらためて学びました。

午後にはグループに分かれて、氷ノ山の自然を体感しながら自然観察クイズラリーを行うなど、鳥取市賀露町と若桜町の森林・緑を通じた交流が一層深まった日となりました。



開 会 式



全員による下刈り作業

森林の整備に汗を流す森っ子倶楽部

緑の募金事業（ボランティア活動）

森っ子倶楽部

平成11年5月に自主的に活動する森林ボランティア団体として自立した「森っ子倶楽部」は、現在約150名の会員数で、年間7～8回の下刈り、枝打ち、除伐、間伐等の森林ボランティア活動を行うほか、他団体からの要請により年数回の協力活動を行っています。

活動のエリアは県下全域ですが、会員が県東・中部に偏っているため、作業地は東・中部が主体になっています。

西部地域からの入会を期待しますとともに、県下各地からの作業地情報をお待ちしています。

【お問い合わせ先】

〒680 - 8570 鳥取市東町一丁目220番地（鳥取県農林水産部林政課内）

森っ子倶楽部事務局（電話：0857 - 26 - 7416）

平成16年度森っ子倶楽部の主な活動状況

時 期	作 業 地	作 業 内 容
5月29日	三朝町俵原	国有林の除伐
6月19日	若桜町屋堂羅	私有林の下刈り
7月24日	鳥取市江津	中央病院の森の下刈り・除伐
9月25日	関金町今西	私有林の間伐
10月31日	三朝町大谷	森林のめぐみ感謝祭併催行事参加
11月20日	大山町赤松	私有林の枝打ち
（12月）	鳥取市桂見	未定



若桜町（下刈り）



県立中央病院（除伐・草刈り）

事務局だより

平成16年度「森の名手・名人100人」決定

森林文化・技術の伝承を目指す「もりのくに・にっぽん運動」の一環として国土緑化推進機構が平成14年度から実施している「森の名手・名人100人」の平成16年度の選定がこのほど行われ、鳥取県からは、小林弘さん（智頭町：樵）と福田豊さん（倉吉市：民芸木工品製作）の2名が選ばれました。これで、鳥取県の「森の名手・名人」は7名になりました。

小林さんは、昭和23年に16歳で智頭町森林組合作業員として勤務して以来、一貫して伐木・造材・搬出作業に従事し、銘木的な大径木の伐採や架線集材に熟練した技術を発揮して智頭林業を支えるとともに、近年は作業班長として若手作業員の技術指導に尽力しておられます。

福田さんは、22歳でUターンし、刳物・指物師の父の元で修行し、地元産の木材にこだわって菓子器・盆などの小物から箆笥などの民芸木工品を製作しておられます。倉吉市展賞・特賞や県展賞を受賞するなど極めて優れた技術を有し、平成16年4月には刳物・指物師として鳥取県の伝統工芸士に認定されました。



小林 弘さん



福田 豊さん

賀露地区自治会林野庁長官賞受賞（全国育樹活動コンクール）

鳥取市賀露地区自治会は、海と山とのつながりの大切さを地域住民に訴えるため、平成12年以来、源流域の若桜町春米地区に「賀露みなと21世紀の森」を設置して地元との交流を続け、下刈り等の森林作業を通じて森林を守り育てることの大切さを地域住民に理解してもらう活動を行っており、その活動が認められて平成16年度の全国育樹活動コンクールにおいて林野庁長官賞を受賞されることになりました。

表彰は、10月24日（日）に徳島県で開催される全国育樹祭の式典において行われます。

飲料用自動販売機による緑の募金への協力をお願いします

本委員会では、本年度から飲料用自動販売機会社ガイドードリンコと提携して、自動販売機による緑の募金に取り組むことにいたしました。

新規設置自動販売機の売上額の2%が緑の募金として、設置者の募金実績に加算されます。設置についてのお問い合わせは、事務局までお願いします。